



2022年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年6月11日

上場会社名 株式会社石井表記 上場取引所 東
 コード番号 6336 URL <https://www.ishiihyoki.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 石井 峯夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 松井 忠則 TEL 084-960-1247
 四半期報告書提出予定日 2021年6月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年1月期第1四半期の連結業績（2021年2月1日～2021年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年1月期第1四半期	3,332	60.7	453	—	441	—	291	—
2021年1月期第1四半期	2,073	△14.2	△47	—	△53	—	△39	—

(注) 包括利益 2022年1月期第1四半期 426百万円 (—%) 2021年1月期第1四半期 △80百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年1月期第1四半期	35.77	—
2021年1月期第1四半期	△4.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年1月期第1四半期	12,652	4,017	31.8
2021年1月期	12,388	3,672	29.6

(参考) 自己資本 2022年1月期第1四半期 4,017百万円 2021年1月期 3,672百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年1月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2022年1月期	—				
2022年1月期（予想）		0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年1月期の連結業績予想（2021年2月1日～2022年1月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	5,694	13.1	345	32.2	315	14.9	274	10.7	33.63
通期	10,996	△5.1	633	△41.3	573	△46.4	472	△35.0	57.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は（添付資料）8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年1月期1Q	8,176,452株	2021年1月期	8,176,452株
② 期末自己株式数	2022年1月期1Q	23,421株	2021年1月期	23,421株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年1月期1Q	8,153,031株	2021年1月期1Q	8,153,171株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、4月には3度目の緊急事態宣言が発令されるなど、同感染症拡大の終息が見通せない中、依然として厳しい状況にあります。先行きにつきましては、中国、米国を中心とした海外経済の改善や、ワクチン接種開始により経済活動が正常化することで国内経済は持ち直していくことが期待されますが、引き続き内外の感染拡大による下振れリスクの高まりに十分注意する必要があります。

当社グループにおきましても、新型コロナウイルス感染症は、国内外の移動制限に伴う営業活動の停滞など、引き続き事業活動への影響を及ぼすものの、次世代通信規格「5G」の市場拡大に伴う同分野での設備投資の増加や中国経済の拡大により、前年同期と比較して業績の回復が見られました。一方で、需要が急増している半導体や電子部品など電子デバイスの供給不足に伴う顧客の生産調整には注意する必要があります。

当第1四半期連結累計期間の売上高は33億32百万円（前年同期比60.7%増）となり、営業利益は4億53百万円（前年同期は47百万円の営業損失）、経常利益は4億41百万円（前年同期は53百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億91百万円（前年同期は39百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(電子機器部品製造装置)

プリント基板分野では、次世代通信規格「5G」の市場拡大に伴い同分野での設備投資が増加したことなどから、前年同期と比較し売上高は増加いたしました。

液晶関連分野におきましても、前年同期は中国への渡航制限により販売出来なかったインクジェットコーターを計画通り売上計上したことや液晶パネル需要の増加に伴い消耗品の販売が増加したことから前年同期と比較し売上高は増加いたしました。

その結果、売上高は13億34百万円（前年同期比176.9%増）、営業利益は3億7百万円（前年同期は61百万円の営業損失）となりました。

(ディスプレイおよび電子部品)

自動車向け印刷製品は、前年からスタートいたしました新規顧客向けの生産が順調に推移し、前年同期と比較して売上高が増加しましたが、工作機械および産業用機械分野については、新型コロナウイルス感染症の再拡大により営業活動の制約が続き前年同期と比較し売上高が減少いたしました。

連結子会社であるJPN,INC.は、フィリピン国内において新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続く中でも通常の生産体制を維持し顧客の需要増加に対応した結果、前年同期に比べ増収増益となりました。連結子会社である上海賽路客電子有限公司についても、次世代通信規格「5G」、電気自動車（EV）、産業機械、家電製品などを中心に中国経済が拡大する中、電子部品実装の需要が増加し前年同期に比べ増収増益となりました。

その結果、売上高は19億95百万円（前年同期比25.6%増）、営業利益は1億45百万円（前年同期比882.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ2億64百万円増加の126億52百万円となりました。

流動資産は、73億29百万円となり前連結会計年度末と比べ2億84百万円増加いたしました。これは現金及び預金が2億39百万円、たな卸資産が43百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

固定資産は、53億22百万円となり前連結会計年度末と比べ20百万円減少いたしました。これは無形固定資産が21百万円減少したことなどによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて80百万円減少の86億34百万円となりました。

流動負債は、50億2百万円となり前連結会計年度末と比べ4百万円減少いたしました。これは、支払手形及び買掛金が2億円、未払法人税等が1億9百万円、賞与引当金が74百万円それぞれ増加しましたが、前受金が3億96百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、36億32百万円となり前連結会計年度末と比べ75百万円減少いたしました。これは長期借入金が1億円減少したことなどによるものであります。

純資産は、40億17百万円となり前連結会計年度末と比べ3億44百万円増加いたしました。これは剰余金の配当を81百万円実施したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益を2億91百万円計上し、利益剰余金が2億10百万円増加したこと、為替換算調整勘定が1億33百万円増加したことなどによるものであります。この結果自己資本比率は31.8%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(連結業績予想について)

当第1四半期連結累計期間の業績は想定を上回って推移しておりますが、今後一部事業に減速懸念があること、また、新型コロナウイルス感染症拡大により景気動向が不透明であることなどから、2021年3月19日に公表しました連結業績予想を据え置いております。

なお、新型コロナウイルス感染症による影響に関しましては不確実性が高いため、終息時期の遅れなど今後の状況の変化により連結業績予想を修正する必要がある場合は速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,502,368	2,741,711
受取手形及び売掛金	2,464,848	2,417,041
商品及び製品	204,599	254,734
仕掛品	1,112,828	972,741
原材料及び貯蔵品	635,344	768,882
その他	127,067	174,948
貸倒引当金	△1,905	△162
流動資産合計	7,045,151	7,329,898
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,215,412	1,196,671
土地	2,107,859	2,107,859
その他(純額)	1,321,101	1,332,954
有形固定資産合計	4,644,373	4,637,485
無形固定資産		
その他	381,428	360,069
無形固定資産合計	381,428	360,069
投資その他の資産		
その他	378,084	390,646
貸倒引当金	△60,737	△65,538
投資その他の資産合計	317,346	325,107
固定資産合計	5,343,148	5,322,663
資産合計	12,388,300	12,652,561
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,579,946	1,780,644
短期借入金	1,680,344	1,683,992
1年内返済予定の長期借入金	400,000	400,000
未払法人税等	100,666	210,051
前受金	411,322	14,647
賞与引当金	27,059	101,988
その他	807,700	811,106
流動負債合計	5,007,039	5,002,431
固定負債		
長期借入金	2,367,000	2,267,000
退職給付に係る負債	524,456	530,587
その他	816,881	834,956
固定負債合計	3,708,337	3,632,543
負債合計	8,715,377	8,634,974

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	300,000	300,000
資本剰余金	1,107,799	1,107,799
利益剰余金	2,675,602	2,885,676
自己株式	△20,120	△20,120
株主資本合計	4,063,281	4,273,354
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△9,973	△8,543
為替換算調整勘定	△377,681	△243,693
退職給付に係る調整累計額	△2,704	△3,531
その他の包括利益累計額合計	△390,359	△255,768
純資産合計	3,672,922	4,017,586
負債純資産合計	12,388,300	12,652,561

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年4月30日)
売上高	2,073,967	3,332,322
売上原価	1,617,229	2,348,514
売上総利益	456,737	983,807
販売費及び一般管理費	503,815	530,565
営業利益又は営業損失(△)	△47,077	453,242
営業外収益		
受取利息	2,418	1,557
受取賃貸料	4,835	7,245
為替差益	8,430	—
助成金収入	—	8,731
その他	2,921	3,613
営業外収益合計	18,606	21,147
営業外費用		
支払利息	14,273	14,009
為替差損	—	6,054
減価償却費	7,790	7,196
その他	2,510	5,524
営業外費用合計	24,574	32,785
経常利益又は経常損失(△)	△53,045	441,604
特別利益		
固定資産売却益	1,854	—
特別利益合計	1,854	—
特別損失		
固定資産除却損	0	47
特別損失合計	0	47
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△51,191	441,556
法人税等	△11,689	149,953
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△39,502	291,603
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△39,502	291,603

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年4月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△39,502	291,603
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,974	1,429
為替換算調整勘定	△35,261	133,988
退職給付に係る調整額	△3,574	△827
その他の包括利益合計	△40,809	134,591
四半期包括利益	△80,312	426,194
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△80,312	426,194
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の影響により国内外の移動制限に伴う営業活動の停滞、客先における設備投資延期など、事業活動に影響を受けております。新型コロナウイルス感染症の終息時期については、概ね2022年1月期中を想定しており、2023年1月期には経済状況は改善に向かうと仮定し、会計上の見積り（固定資産の減損等）を行っております。

なお、前連結会計年度の決算短信に記載した新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響などによる仮定および会計上の見積りについて、重要な変更はありません。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響については不確実性が高いため、上記仮定に変化が生じた場合には、将来における当社グループの経営成績及び財政状態に影響を与える可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年2月1日至2020年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電子機器部 品製造装置	ディスプレ イおよび電 子部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	482,158	1,588,939	2,071,097	2,870	2,073,967	—	2,073,967
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	482,158	1,588,939	2,071,097	2,870	2,073,967	—	2,073,967
セグメント利益又は損失 (△)	△61,767	14,794	△46,972	△104	△47,077	—	△47,077

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメント及び付随的な収益を獲得するに過ぎない構成単位であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年2月1日至2021年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電子機器部 品製造装置	ディスプレ イおよび電 子部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,334,991	1,995,561	3,330,552	1,769	3,332,322	—	3,332,322
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,334,991	1,995,561	3,330,552	1,769	3,332,322	—	3,332,322
セグメント利益	307,888	145,306	453,194	47	453,242	—	453,242

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメント及び付随的な収益を獲得するに過ぎない構成単位であります。

2. セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。